

連合長野 [2月]



2013.2.10
No.345

発行/日本労働組合総連合会
長野県連合会
発行人/根橋 美津人

〒380-8545 長野市県町532-3 労働会館3F TEL 026-234-1626 FAX 234-1349
E-mail info@rengo-nagano.jp http://www.rengo-nagano.jp/

2013春季生活闘争方針を決定し、 県内闘争本格スタートへ!

「働くことを軸とする安心社会」の実現を目指して すべての働く人の処遇改善に取り組む!

連合長野は1月18日(金)、長野県松本勤労者福祉センターにおいて、2013春季生活闘争方針を決定する「第25回地方委員会」を開催した。執行部、地方委員、女性・地協特別地方委員、傍聴など約100名出席のもと、経過報告、春闘方針などの議案を採択した。

冒頭、中山会長は、2013春季生活闘争は、『働くことを軸とする安心社会』の実現と、すべての働く者の「傷んだ雇用・労働条件」の復元をはかり、最低賃金の引き上げやパート・非正規労働者の均等・均衡処遇、就業率向上につながる職業訓練・就労支援、ワークライフバランスの推進など、ディーセントワーク実現の取り組みを進めるために、労働条件全般の課題解決をめざした運動を進める。そして賃上げ・労働条件の改善を通じて、早期にデフレからの脱却をはかり、日本社会の劣化を食い止め、自助・共助・公助が調和した社会の実現を目指す闘いである。成長の原点・原動力は「人財」であるという考え方に立ち、総額人件費抑制に固執する企業のあり方を改め、労使が一致・協力し、現場の総合力を信じて産業力・企業力を再生させる発想に転

連合長野第25回地



執行委員会を代表してあいさつする中山会長

換していかなければならない。そのためには、構成組織、地域協議会が一丸となって「地域に根ざした顔の見える連合運動」の前進と、非正規労働者や未組織労働者等との幅広い連携で、連合がすべての働く人の拠り所としての役割を果たすことが必要である』と訴えた。

その後根橋事務局長より、連合長野の春闘の基本スタンス、「底上げ・底支え・格差是正」と「人財を軸とした産業力・企業力の強化による持続的な成長の実現」を踏まえ、「非正規労働者を含め、すべての労働者を対象に賃金、労働時間を含めた労働諸条件の改善」に取り組むことを活動の柱とし、具体的には、36,192名の賃金実態調査より策定した「賃金カーブ維持分としての4,500円に加え、賃金水準の低下や、賃金のひずみなどの状況に応じて改善分の2,500円」を目安に賃金引き上げ要求を掲げる。更に今春闘から新たに、県内労働者の年齢別到達目標として、35歳270,000円を中心とした「到達水準」を提示し取り組むとの提案があり、全会一致で確認した。



全員で団結がんばろう

「傷んだ雇用・労働条件」の復元を!
連合長野第25回地方委員会を開催

飢餓に苦しむマリ共和国の人々へ支援米を！！ JA長野県ビルで、国際協力田米の発送式を開催



昨年の支援米は無事マリの子ども達へ
写真は、30年ほど前からアフリカの子供たちに支援物資を贈っている、NGO「マザーランド・アカデミー」の提供

国際協力田米の合同発送式が1月11日(金)、JA長野県ビルで行われた。『国際協力田』の取り組みは、JAなどが取り組んでいる『国際協力田運動』の趣旨に賛同し、2010年より国民運動・環境委員会メンバーで安曇野の休耕田を借用して連合長野で田植えから稲刈りまでの米作りを行っている。昨年収穫した318kgの米をJA長野県ビル前へ搬入し、JAグループの皆さんの収穫した米と合わせて4,976 kgをアフリカ・マリ共和国へ発送した。

昨年マリ共和国では、大干ばつにより干ばつに強いはずのアワ・ヒエの収穫が5分の1まで落ち込むと

もに、マリ出身の傭兵が食糧や生活必需品を求め紛争を起こしたことなどにより、6万7千人が難民化した。そして今年に入り、マリ北部を拠点としていたイスラム系武装勢力が南進を開始したため、フランス軍は突然マリに介入し、不安定な状況が続いている。

今年も無事に支援が届けられることを願い、発送式を行った。

2013年度は安曇野市豊科南穂高地区の田の他に、農団労上伊那那組が取り組んでいる『国際協力田』に上伊那地協でも田植えなどの協力をしていく予定で、支援を拡大していきたい。



発送式の模様



メッセージを書く、国民運動・寺澤委員長

専門の
第三者機関による
住まいの健康診断

住宅診断



一般住宅診断 (定価73,500円)

63,000 円 (税込)

※建物の大きさ、書類の不備等で別途かかる可能性があります。

住まいは、不調であっても、声を出して訴えてはきません。『住宅診断』は住まいの声をきくことです。あなたのお住まいの声をきいてみませんか？



長野県労働者住宅生活協同組合

〒380-0838 長野県長野市523番地 ろうきんビル7F

☎ 026-234-0283
Fax 026-234-0271

人権が尊重され、あらゆる差別が存在しない社会の実現を！！

千曲市において、

第50回長野県部落解放研究集会を開催

第50回長野県部落解放研究集会が1月25日(金)、千曲市の更埴文化会館で約700名の参加により開催された。この集会は、部落解放同盟県連などをつくる実行委員会の主催で、部落解放長野県民共闘会議(中山千弘議長)からも実行委員を派遣するとともに、連合長野をはじめとする共闘会議構成団体から約40名が参加した。

集会は、徳武共闘会議事務局長(連合長野)の司会でスタート。午前の部では、部落解放同盟の組坂中央執行委員長から、「部落解放運動のめざすべき方向」と題して「全国水平社創立90周年の闘いの歴史と成果」「人権の21世紀実現にむけた部落解放運動の役割」などについて講演をいただいた。

その後「ここから同和教育がスタート、そしてこれから」と題して、ある事件がきっかけとなり長野県内で

本格的な同和教育が始まった歴史についての講演、続いて新潟の中学校の先生から、被差別部落出身と思われる生徒と接した現場での体験談について報告いただいた。

本日の講演・報告について参加者からは、「今集会に参加させていただき、これからの部落解放運動を考え、また、私たちの日々の生活において大切なものを再確認することができた。」などの感想も寄せられた。

現在「いじめ」や「暴力」が社会問題となっているが、一日も早く差別される人も差別する人もいない、全ての人が人間として尊重され、誇りをもって生きていける社会になることを願っている。



講演する組坂中央執行委員長



全体集会の様相

ATM利用手数料還元サービス

〈長野ろうきん〉
カードなら
ひと月に
何回使っても、
どこで使っても

お引出し
手数料

0
円
実質

※一部利用できない金融機関、コンビニがございます。

『お引出し』はお近くのATMで >>>

- セブン銀行・イオン銀行は、お引出し手数料が**無料**でご利用いただけます。
※セブン銀行は午後7時から午後11時まではお引出し手数料がかかりますが、翌月25日(非営業日の場合はその翌営業日)にお客様の普通預金(貯蓄預金)口座に**全額キャッシュバック**いたします。
- 都銀・地銀・信金・信組・JAなどMICS加盟の提携金融機関やゆうちょ銀行、さらにコンビニのATM・CDを利用してお引出しされた場合の手数料も、**全額キャッシュバック**の対象になります。
※長野ろうきんのキャッシュカード(普通預金・貯蓄預金)、ローンカードが対象となります。
※手数料が210円の場合でも、210円の**キャッシュバック**となります。
※ご利用後、翌月のご入金日までに口座解約された場合は、キャッシュバックいたしませんのでご了承ください。
※サービスの詳細はホームページ等でご確認ください。



2012年9月25日現在



詳しくは(ろうきん)各営業店にお問い合わせください。インターネットでも(ろうきん)の情報がご覧いただけます。



<http://www.nagano-rokin.co.jp/>

長野ろうきん

検索

「働くことを軸とする安心社会」実現のために ＝ 県労福協構成団体研修会開催 ＝

1月22日(火)千曲市において、県労福協構成団体合同研修会が開催された。

その名のとおり、労福協を構成する労働・福祉に関する県組織の役員が一堂に会しての研修であり、第1部研修会では、中央労福協副会長の山本幸司氏をお招きし、『持続可能な日本社会をめざして!』と題して講演をいただいた。

山本さんからは、現在の日本社会は持続可能ではない。日本の人口構造問題、働いても自活できないワーキングプア(特に若年層)の問題、若者意識の異常、自ら命を絶つ者の日常化など象徴的な4点の事象を上げ、連合が目指す「働くことを軸とする安心社会」実現のため、私たちが行っていくことについて



あいさつする中山県労協理事長

のアドバイスをいただいた。

また、協同組合の価値を高めていくために、昨年の国際協同組合年に行った事業を単年度のもので終わらせるのではなく、その成果を引き継ぎ発展させることの重要性についてお話をいただいた。

第2部は、本年初めての試みとして、「各構成団体間の共同連携の在り方」「若い世代に運動・活動をどう繋げていくのか」をテーマに意見交換を行った。意見交換会では、構成員に対してより良い事業を目指した発展的な意見・要望が交わされた。

今後も各団体が真の連携を模索し、固有の役割を果たす中で「働くことを軸とする安心社会」実現のため取り組んでいく。



山本副会長の熱心なご講演

ZENROSAI NEWS

50周年
全労済 長野県本部

僕は、こくみん共済。

2012年は
国際協同組合年

協同組合の
価値を
高めよう

協同組合の
発展に
つなげる
活動

協同組合の
発展に
つなげる
活動

協同組合の
発展に
つなげる
活動

安心して生きていく。自分も、家族も。

こくみん共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

ここに記されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。ご契約の際は「ご契約のてびき(契約概要・注意喚起情報)」等を必ずご確認ください。

保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会